

ふるさとふちゅう

【第21回】府中町で体験、四国お遍路（6）
道隆寺（4）本尊薬師如来坐像（3）

再発見

道隆寺の本尊は木造薬師如来坐像です。墨で書かれた文字から鎌倉時代の作成が確実で、地方で作られた特徴を持つ貴重な仏像として広島県重要文化財に指定されています。『安芸府中町史第二巻』に

道隆寺の本尊薬師如来坐像は高さ86センチメートル、髪は以下の高さ73・5センチメートル、足を組んだ膝の幅は74センチメートルの彩色像。現在ほとんど彩色が剥落し、下地がわずかに残っている。構造は頭・体部が別の木で、頭部・体部とも前後で木材を接着している。右手の肘から先、右手の袖部から先は後に補っている。背板中央に墨で書かれ

た文字がある。薄く読みにくい。年代が「建」の文字と「辛酉」、「11月2日」が「己酉」と読め、該当するのが建仁元年以外にはないので、建仁元（1201）年の作とみてよい。（中略）作風は、顔はやや細長く、頬の張りもない。平安時代に定朝という仏師が流行させた仏像の豊満さよりも、むしろ端正である。衣文線も定朝様より太い。鎌倉期の運慶・快慶などが始めた慶派の影響は、この像には見当たらない。平安末期の新傾向の影響が、この地方ではこうした表現をとったものだろう。（中略）地方的作風にありがちな破綻も少なく、全体的に緊張感もあり、なかなかの佳品と言える。



道隆寺 薬師如来坐像（広島県重要文化財）
広島県教育委員会HP

て大切な本尊であるとともに文化財としても価値が高い薬師如来坐像は、普段は災害から守るため収蔵庫に保管され、例年5月の御祭に公開されています。正徳2（1712）年の「安芸郡府中村寺社堂古跡帳」には道隆寺について「本尊薬師 但 木仏坐像 御長 二尺五寸 作不知」の他に「薬師一体 但 木仏坐像 御長 四尺 恵心作と申 伝候」とあります。現在本堂で安置されている薬師如来は、約1・2メートルの坐像です。こちらの木造仏と考えられます。

菅 信博

健康に役立つ
情報を紹介

朝パッ君の

耳より情報

健康づくりにチャレンジ
してみよう！



9月は健康増進普及月間 ～健康について考えてみませんか～ 岡健康推進課 ☎286-3257

毎年9月1日～30日の1か月間を、「健康増進普及月間」としています。統一標語は「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ～健康寿命の延伸～」です。この機会に、健康づくりに取り組んでみましょう。

健康づくりのための「+10分」

今より10分多く毎日からだを動かすことで、「死亡のリスクを2.8%」「生活習慣病発症を3.6%」「ガン発症を3.2%」「ロコモ・認知症の発症を8.8%」低下させる効果があります。

仕事や家事のちょっとした合間(10分間)に、からだを動かしてみませんか。

仕事の合間に

- ・歩くときは歩幅を広く、早く
- ・階段を使う



家事の合間に

- ・こまめに動く
- ・テレビを見ながら足上げ